

広報

あつま

2014. OCT

10

No.746



地域福祉を大切に熱意を持って取り組む



今年4月から、社会福祉法人北海道厚真福祉会・特別養護老人ホーム豊厚園の園長を務めている三浦康弘さん。

三浦さんは喜茂別町出身。今年3月に早期退職するまで、北海道職員として美唄、江差、網走、旭川、富良野など道内各地で勤務したほか、最も年数の長かった道庁では、児童福祉や高齢者福祉、DV被害対策など幅広く福祉行政に携わった。また、当時の北海道開発庁に出向し、現場で予算の取りまとめなどを行ったという貴重な経歴も持つ。真面目な経歴や印象とは裏腹に、「道庁を早期退職したというところ、天下り」と思う人も多いかもしれないけれど、私はそんな器じゃありませんからねっ」と、冗談めかすユーモアさも持っている。

三浦さんが豊厚園の園長職に就こうと思ったのは、「厚真町はデイサービスや老人福祉施設が充実している印象があり、これ

までの経験を生かしたい」と思ったから。「これまで福祉畑一筋で働いてきたことを生かして、地域の方が、安全で安心して、ゆっくり・のんびり暮らせる環境づくりを目指しています。これからも、利用者の方に満足していただけるサービスを提供していきたいです」と話す。

また、仕事以外でも地域に貢献したいと、これまでの赴任地同様、厚真でも剣道の指導にあたっている。そんな三浦さんは、なんと剣道7段の腕前。6歳から剣道を始め、小学校6年生の時には全国大会で、また、全日本学生剣道大会では2度の団体優勝も経験。「仕事も剣道も絶対に一歩も引かない！」という熱いハートを持つ剣豪だ。

現在は奥様と二人暮らし。奥様は町内のパン教室に通ったり、ゆくりの機能訓練室に行ったりと、田舎暮らしを満喫している様子とのこと。温かなまなざしと明るい人柄で、地域福祉を大切にし、仕事や地域活動に熱意を持って取り組む三浦さん。「最近、町内の若い人が婚活イベントを実施したことをラジオで耳にしました。若者が頑張っている姿は、町に元気を与えてうれしいですね。」

まちかど歳時記



タンチョウ

(撮影日・場所：9月12日・上野)



町民の方からご連絡をいただき、撮影することができたタンチョウ。国の特別天然記念物に指定されています。今回、確認をお願いした阿寒国際ツルセンター（釧路市）の方によると「飛翔シーンのタンチョウの翼に黒い斑が見えることから、若い個体（1～2年目）だと思われます。近年、鶴川近辺で営巣しているタンチョウがいるので、もしかするとそのつがいの子どもかもしれません」とのこと。また、「タンチョウは、生後100日で飛べるようになるのと同時に、親とほぼ同じ大きさになります。立った時の背の高さは150センチ近くあり、人間と変わらないほどの存在感があります。タンチョウを見つけた際は、驚かさずに遠くから、または車内から観察してください。驚いて慌てて飛び去った際に、電線などの人工物に衝突してしまう可能性があります。また、畑などに入り込んで被害を被った際には、人間の存在をアピールしながらゆっくり近づくと、警戒して逃げていきます」とのお話でした。

『まちかど歳時記』では、地域の行事や風景等の写真を募集します。ぜひ、お住まいの地域の行事や風景等の写真をお寄せください。お気軽に、まちづくり推進課企画調整グループまで。(☎27-3179)



■ ■ ■ ■ ■ 今月の内容 ■ ■ ■ ■ ■

☒ I LOVE あつま・人口・世帯数 … 2～3

☒ 第3回定例町議会 … 4～5

☒ まちの話題 … 6～9

☒ Jアラートを活用した住民の皆さんへの情報伝達訓練 … 10

☒ 弁護士による無料法律相談会のご案内 … 11

☒ 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金申請されましたか？ … 11

☒ みんなの広場 … 12～13

☒ まなびや … 14～15

☒ 健康情報・ほけんの掲示板 … 16～17

☒ 情報ひろば … 18～19



■ 今月の表紙

9月10日、さくら保育園（金光朋充園長）で「フラワーアレンジメント教室」が行われました。

園児たちは、先生や参観日で園を訪れていたお母さんたちと一緒に、自分たちで作った器に花を生け、ステキなアレンジメントを完成させていました。



2014年10月

NO. 746

9月30日現在の人口
4,708人(前月比 -11)
男 2,310人／女 2,398人
世帯数 2,103(前月比+1)

9月10日～12日

平成26年第3回定例会

議会

同意

町教育委員会委員に
長門茂明さん（鹿沼）を再任

厚真町教育委員会委員に、平成26年9月30日で任期満了となった長門茂明さん（鹿沼・47歳）が再任されました。

山田英雄さん（朝日）が
町自治功労者として表彰

平成7年から町議会議員として3期12年にわたり在任し、また、平成2年から平成8年までの2期6年間、厚真町農業委員会委員として在任されたほか、都市計画審議会委員、まちづくり委員会委員、厚真町国民保護協議会委員および厚真町防災会議委員の要職を歴任し、本町の行政およびまちづくりの推進に寄与。また、平成17年1月から現在まで、厚真町土地改良区理事長の要職に就かれ、農業基盤整備の推進および農業発展に大きく貢献された山田英雄さんが、町表彰条例の規定により町自治功労者として表彰されます。

議案

平成26年度一般会計予算
58億6,140万8千円に

平成26年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出それぞれ、2億3、079万3千円が追加され、総額で58億6、140万8千円になりました。

報告

各常任委員会から
調査事項などを報告

- 総務文教常任委員会（今村昭一委員長）
開催日 7月23日
【事務調査】
 - ①東胆振定住自立圏構想について
 - ②厚南地区認定こども園の進捗状況について
- 産業建設常任委員会（木戸嘉則委員長）
開催日 7月22日
【事務調査】

①平成26年渇水対策について
②町内におけるポイントカード事業の状況について

健全化判断比率などを 議会に報告

本町の平成25年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率ならびにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、監査委員の審査が終了したので、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により議会に報告されました。（下表参照）

意見書案

2つの意見書案を採択し
内閣総理大臣等に提出

- 次の2つの意見書案が採択され、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長等に提出されました。
- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
 - ・提出者 今村議員
 - ・賛成者 了安議員、井上議員、海沼議員、三國議員
 - 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
 - ・提出者 木戸議員
 - ・賛成者 吉岡議員、大捕議員、下司議員、木本議員

平成26年第3回定例会が9月10日から12日まで、3日間の会期で開催されました。審議されたのは、厚真町一般会計補正予算など議案7件、同意2件、報告7件、認定6件、意見書案2件で、いずれも原案どおり可決されました。

その主な内容についてお知らせします。

厚真町の公営事業は下記の表のとおりで、各会計とも資金不足が生じていないため、「－」で表示しています。

	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	－	20%
公共下水道事業特別会計	－	

厚真町の健全化判断比率は下記の表のとおり、早期健全化基準を超えている比率はありません。欄中の「－」は実質赤字額・連結実質赤字額がない（黒字である）、将来負担額よりも充当可能財源等が上回っていることを示しています。

	26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	15%	20%
連結実質赤字比率	－	20%	30%
実質公債費比率	13.7%	25%	35%
将来負担比率	－	350%	

資金不足比率

◆町長行政報告◆

農作物の生育状況について

農作物の生育状況についてであります。本年は積雪も少ないことに加えて、4月から6月中旬までの降水量も平年の半分程度で、一部地域においては水田の灌漑用水不足から、田植え作業に大きな影響が出ました。その後、気温は平年並みからやや高めとなり、日照も多く推移した結果、全体的に農作物は順調に生育しています。

胆振農業改良普及センター東胆振支所が発表している農作物の生育状況によりますと、水稲は、4月から好天に恵まれ、播種後の出芽や耕起・代掻き・移植作業は概ね順調に進みました。しかし、先に述べたとおり用水量不足から一部地域で代掻きや移植作業が遅れ、やむを得ず移植を断念する生産者（2戸3.57㍏）も生じました。

移植後は好天が続き、活着は早く分げつの発生も旺盛でした。6月の中旬にひと時日照不足がありました。幼穂形成期は平年に比べ7日早い6月30日、出穂期は5日早い7月28日と、生育は進んでいました。8月上旬は気温も高く推移しましたが、中旬以降は気温は平年並みからやや低い傾向となり、登熟の進捗はやや停滞しましたが、9月1日現在では平年より4日程度早く、成熟期は9月15日頃に達する見込みです。

農林水産省が発表した8月15日現在の本年産水稲の作柄概況では、北海道は渡島、檜山の両地域が「やや良」以外は「良」と見込まれ、道外では16都府県で「やや良」、29府県では「平年並」と発表されています。

また、8月29日にJ・Aとまこまい広域が実施した水稲の稲実調査では、主要品種の不稔率が5.5%程度（平年9%程度）と平年を大きく下回り、収量・高品質米の生産が期待されることとなります。

小麦は、起生期以降の土壌水分不足によって追肥の効果が不十分となりましたが、その後は草丈・茎数ともに平年並みとなりました。幼穂形成期が平年より1日遅れの5月7日となりましたが、出穂期は平年より4日早い6月7日、成熟期は4日早い7月18日、収穫期は5日早い7月26日となりました。9月1日現在の調整状況（とまこまい広域）では、秋小麦の受入重量（種子を除く乾燥粗麦重量）は1,750トンで、等級麦は1,480トン（約85%）、その内1等麦は75%を見込んでいます。また、春小麦の受入重量は344トンで、等級麦は257トン（約75%）、その内1等麦は43%を見込んでいます。

馬鈴薯は、5月上旬の降雨により植付終が平年より2日早い5月2日となりました。萌芽期も2日早い5月18日となり、その後もその差を維持したまま収穫を迎えました。収穫始は2日早い8月3日、収穫期も2日早い8月24日となりました。9月1日現在の収穫の進捗は断続的な降雨の影響もあり約60%と見込んでいます。品質については、でん粉価は高い傾向にありますが、全体的に小玉で、価格は平年並みとなっています。

豆類（大豆・小豆）は作業・生育とも順調に進み、開花期はともに4日早く、大豆は7月17日、小豆は7月22日となりました。高温・多照により莢の伸長・肥大はともに順調で推移し、9月1日現在では大豆・小豆ともに4日早く生育しています。中でも小豆では、一部で成熟期に達しているほ場もあります。

てん菜は、移植については移植終わりが平年に比べ3日早い5月6日となりました。活着は良好で、その後も順調に生育し、根部の肥大も進み、現在は平年より3日早い生育となっています。なお、直播については移植と比較し遜色のない生育となっております。

牧草の一番草の収穫始は平年と比べ2日遅い6月20日でしたが、収穫期間中の好天により作業が順調に進み、収穫終は平年より6日早い7月5日となりました。二番草は、平年並の生育量を確保していますが、水分不足の影響を受

けて草丈が短く、葉先枯れなどが見られるほ場もあります。収穫期は2日早い8月28日で、9月1日現在の収穫進捗は約60%と見込んでいます。

サイレージ用とうもろこしは、現在、糊熟期を迎え、平年より6日程度早く生育しています。

そ菜園芸では、ほうれんそうについては出荷量は平年並ですが、高温多照の影響で、まだら、草丈不足等によりA品率が70%程度となっており、価格はやや高値で推移しています。

カボチャの生育は、高温少雨の影響で、つるの伸長、果実の肥大は緩慢となり、出荷量もやや少ない傾向となっています。また、8月以降に「うどんこ病」が発生し、蔓延した影響で一部日焼け果実の発生も見られます。出荷物については5～6玉中心で品質も高く、価格はやや高値で推移しています。

ブロッコリーの生育は概ね順調でありましたが、高温少雨の影響で生理障害の発生が多く、品質が低い傾向にありました。また、8月以降の高温と降雨の影響で軟腐病、花らい腐敗病の発生も多くなっています。価格は平年並みで推移しています。

花卉は、高温多照の影響を受け、開花が1週間程度前進している状況で、価格は平年並みで推移しています。

ハスカップは高温多照の影響で、出荷がやや早まりました。少雨により果実肥大が緩慢となりましたが、最終的な出荷量は昨年を上回り、平均単価もやや高く推移しました。

本年はエルニーニョ現象の発生により冷夏が危惧されておりましたが、一転、暑い夏となりました。春耕起の灌漑用水不足以外に気象災害等の影響も少なく、作物の生育は概ね良好ですが、気象変動が大きい年が続いています。このような状況を踏まえ、気象変動に的確に対応できるよう関係機関と連携して対応するとともに、収穫作業の最盛期を迎えるに当たって、農作業事故に十分注意されるよう生産者への呼びかけを強化してまいります。

9月11日の大雨災害について

9月11日の大雨災害についてであります。北海道の西海上に停滞した低気圧の影響で、厚真町において局地的豪雨となる恐れが生じたため、11日の朝にかけて室蘭地方気象台から、7時40分に大雨警報、8時15分に土砂災害警戒情報、同じく8時15分に数十年に一度の過去に例のない警報基準を超える大雨となることを知らせる大雨特別警報が発表となりました。また、この特別警報の発表により、総務省消防庁が管理するJアラート（全国瞬時警報システム）が自動起動し、避難行動を促す防災無線放送が全戸に放送されました。北海道での特別警報の発表は、昨年の8月30日に運用開始以来、初めてのことであります。この結果を受け、厚真町地域防災計画に基づき、8時26分に災害対策本部を設置し、避難所の開設と合わせ8時45分に全町民を対象とした避難勧告を発令したところです。実際の降り始めからの総降雨量は、朝日地区で51ミリメートル、厚真ダムで63.5ミリメートルと、幸い災害をもたらす大雨になることはなく、12時30分に土砂災害警戒情報が解除、続いて、12時55分に大雨特別警報も解除となりましたので、避難勧告を解除いたしました。

この度の大雨特別警報の発表に伴う警戒態勢において、21箇所の避難所を開設しましたが、うち4箇所の避難所に12世帯15名の方が避難されました。

また、町内の被災状況であります。一部の圃場で倒伏が確認されているものの、その他の被害は発生しておりません。

今回は、幸いにも災害とならずに済みましたが、慢心することなく、警戒態勢に改善を図りながら、今後とも町民の生命を守る取り組みを進めてまいります。

■審議された内容

番号	件名	同意
1	厚真町教育委員会委員の任命	同意
2	自治功労賞表彰	同意
1	厚真町議会の議決事件に関する条例の制定	議案
2	財産の取得	議案
3	北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更	議案
4	平成26年度厚真町一般会計補正予算	議案
5	後期高齢者医療特別会計補正予算	議案
6	簡易水道事業特別会計補正予算	議案
7	公共下水道事業特別会計補正予算	議案
1	所管事務調査報告（各常任委員会）	報告
2	財政援助団体等に関する監査の結果報告	報告
3	定期監査の結果報告	報告
4	現金出納例月検査の結果報告	報告
5	教育委員会の事務事業の点検・評価報告	報告
6	平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率	報告
7	厚真町新型インフルエンザ等対策行動計画の報告	報告
1	平成25年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	認定
2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
3	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定
4	介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
5	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
6	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定

奉仕の輪を広げ次世代へ継承

厚真ライオンズクラブ認証40周年記念式典を挙

厚真ライオンズクラブ（LC）認証40周年記念式典が9月13日、総合福祉センターで開催され、会員やスポンサークラブの苫小牧LC、ブラザークラブ、姉妹クラブである前沢LC（岩手県奥州市）など道内外から約200人が出席し、40周年を盛大に祝いました。

式典では、佐藤秋夫会長が「誕生以来、友愛と相互理解の精神のもと歩んできた。この間、歴代地区ガバナーやスポンサークラブ、姉妹クラブの友情あふれる温かい指導をいただき厚くお礼申し上げる。今後も各アクティビティを通じて皆さんと交流を深め、厳しい社会を正しく生きていくために、お互いに理解と信頼を持つて、ライオンズのモットーである奉仕の輪をさらに広げ、次世代に継承していきたい」と式辞。また、記念アクティビティとして町立小学校へライオンズ文庫整備費200万円が寄贈され、佐藤会長から宮坂町長へ目録が贈呈されました。

厚真LCは1974（昭和49）年に誕生。以降、独居老人歳末慰問や新入学児童への記念品贈呈、中高生意見発表会の開催、交通安全街頭啓発や鯉のぼりの掲揚など、さまざまな奉仕活動を行っています。



式辞を述べる佐藤秋夫会長



佐藤会長から記念品の目録を受け取る宮坂町長

豊かな実りに感謝を込めて 森田さん(桜丘)ほ場で抜穂祭

9月22日、森田明央さん(桜丘)の神田(田んぼ)で、胆振青年神職会・日高青年神職会合同による抜穂祭と稲刈りが行われ、作業の安全と豊かな実りに感謝を捧げました。

田長を務めた森田さんは「天候に恵まれたこともあり、今にも実が落ちてきそうなほどの豊作となりました。稲が倒れるなどの被害もなく、無事収穫を迎えることができて安心しました」と話していました。収穫されたお米は、伊勢神宮をはじめ、胆振・日高管内の各神社に奉納され、新嘗祭で用いられるとのことです。



稲穂を受け取る田長の森田さん



記念品を手に茶木清治さん(京町)と町長

これからも長生きでお元気で 町敬老会に295人が出席

平成26年度厚真町敬老会が9月17日、総合福祉センターで行われ、295人が出席し、町長、議長ら来賓から長寿のお祝いを受けました。今年度対象となる方は、100歳以上の方が3人、90歳以上の方が103人、米寿（88歳）の方が43人、一般敬老者（上記該当以外で昭和10年12月31日以前に生まれた方）が539人の計688人。

宮坂町長の祝辞に続いて、100歳以上、90歳以上、米寿の方に記念品が贈られました。その後祝宴が行われ、出席者は楽しいひとときを過ごしていました。

9月のまちの話題

国内最大級の自転車ロードレース ツール・ド・北海道で厚真町が通過コースに



(上)疾走する選手 (下)沿道から声援を送る観客ら

国内最大級の自転車ロードレース「第28回ツール・ド・北海道2014」が9月13日から15日までの日程で行われ、国内トップクラスの選手をはじめ、アメリカやオーストラリアなどから参加した計20チーム・1000人の選手が道内を駆け巡りました。

厚真町内を通過する第1ステージでは、千歳市をスタートして、ゴールの新得町までの194kmのコースで行われ、Aコープ厚真店前に設置されたホットスポット（中間スプリント）では、沿道に集まった150人ほどの観客が選手に歓声を送っていました。



秋空の下 厚真川河川敷で 記録目指して力走

9月30日、上厚真小学校（油谷論校長）で、マラソン記録会が開催されました。

当日は秋晴れの好天に恵まれ、児童たちは、ハーフパンツとTシャツ姿で、コースとなった上厚真大橋河川敷のサイクリングロードを力いっぱい駆け抜け、各コースで日頃の練習の成果を発揮し、好タイムを目指していました。



林業支援員中山睦基さん に委嘱状交付

9月29日、地域おこし協力隊・林業支援員の委嘱状交付式が行われ、新しく支援員となった中山睦基さん（29歳）に宮坂町長が委嘱状を手渡ししました。中山さんは札幌市出身。木炭の営業販売の仕事に就いていましたが、木炭生産に興味を湧き、支援員に応募したとのこと。宮坂町長は「これまでの経験を炭作りに生かしていただければ、大先輩から指導を受けながら、地域の方々とも触れ合ってください」とエールを送っていました。



秋の交通安全運動（9月21日～9月30日）の実施に伴い9月22日、厚真町交通安全協会（池川義厚会長）主催による「セーフティコール」が、苫小牧信用金庫前交差点で実施されました。

当日は、町内の各団体や子ども園つみきの園児らなど約90人が参加。約1時間にわたって「飲酒運転の撲滅」「交通安全」「シートベルト着用」などと書かれたのぼりを手に持ち、道路の両脇に立って道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。

秋の交通安全運動でセーフティコール

さくら保育園（金光朋充園長）で9月10日、フラワーアレンジメント教室が行われました。園児らは、(財)小原流苫小牧支部長の上田敦子さんの指導を受け、お母さんや先生たちと一緒にステキな作品を完成させました。

この教室は、小さな花にも命があることを学び、優しい気持ちを育てることなどを目的に開催されたもの。出来上がった作品は、敬老の日のプレゼントとして持ち帰り、おじいちゃんやおばあちゃんへプレゼントされました。



さくら保育園でフラワーアレンジメント教室



みんなで一緒に稲刈り楽しいね！

おいしいお米がたくさんできたよ！

こども園つみき（宇佐美修一園長）のきりん組園児らが9月9日、錦町・保田さんの田んぼで稲刈りを行い、園児や保護者など約40人が参加しました。園児たちは、去年より早く収穫時期を迎えた田んぼで、お父さん・お母さんと先生たちと一緒に鎌を使って稲刈りをしたり、束ねた稲をトラックへ積み込んだりする作業などを行いました。

収穫したお米は、はさ掛けして天日で乾燥させ脱穀を行った後、こども園の給食用として使用されるほか、年長児対象の「親子料理教室」でおにぎりを作って食べる予定とのことです。

練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げる

9月19日、町ゲートボール協会主催の「町長杯ゲートボール交流大会」が開催され、町内の愛好家ら25人が参加し、日頃の練習の成果を発揮して熱戦を繰り広げました。開会式では、宮坂町長が「スポーツの秋になりました。日頃の努力を遺憾なく発揮して、優勝目指して頑張ってください」と激励し、5チームによる総当たり戦がスタート。

試合では、ライン際での両チームの攻防戦が繰り広げられ、ゲーム時間ギリギリまで全力でプレーしていました。

【順位】1位 厚南同好会／2位 厚真こぶし／3位 豊沢



ライン際での攻防戦を繰り広げる選手ら

事故のない安全な町を願いパレード

秋の全国交通安全運動の一環として9月26日、厚真町交通安全協会（池川義厚会長）主催による「交通安全パレード」が実施されました。

開会式では、池川会長が「9月30日まで秋の交通安全運動が行われています。今日は元気に行進して、町の皆さんに交通安全を呼びかけましょう」とあいさつ。その後、苫小牧警察署のバトカーが先導し、厚真中央小学校鼓笛隊をはじめ、町内の各団体や事業所、交通安全関係者、教職員、役場職員など約120人が厚真市街地をパレードし、交通安全を呼びかけました。



市街地をパレードし交通安全を呼びかけ

水の事故から自分の命を守るために

9月3日、厚真中央小学校（久葉忠男校長）で着衣水泳教室が行われ、5・6年生の児童48人が参加しました。この授業は、水の事故の危険を理解し、万が一事故に遭った際の対処方法などを学ぶことを目的として、釧路日本水難救済会浜厚真救難所（澤口伸二所長）や第一管区海上保安本部、苫小牧海上保安署、北海道海難防止・水難救済センターなどの協力により毎年開催されているもの。児童らは、数グループに分かれて海上保安官から指導を受け、服を着たままでの水中歩行や背浮き、ペットボトルや救命胴衣を使って浮く体験などを行いました。



海上保安官の指導を受ける児童たち

運命の出会いを求めて♡婚活イベント

あつま新鮮組（商工会青年部、J A青年部、漁協青年部）主催による婚活イベント「厚真にしかない出会いがある～fateful meeting～出会いとグルメの婚活ツアー」が9月6日・7日に開催されました。当日は、町内外から合わせて54人が参加。1日目は自己紹介タイムや縁日形式のフリータイム、また夜には飲食店の協力を得た街コン形式も取り入れられ、参加者は運命の出会いを求めて交流を深めました。2日目は、いも掘り観光で作業をしながら会話を楽しみ、最後に、好意を持った人のアンケート結果を発表するなどして、8組のカップルが誕生しました。



自己紹介タイムでお互いをアピール

まちの話題 plus

砂のプレゼントありがとう！ 企業が地域貢献事業の一環で砂を提供



大きなタイヤショベルの前で記念撮影

共栄地区で工事を行っている企業が9月10日と24日、地域貢献事業の一環として、こども園つみき（宇佐美修一園長）と宮の森保育園（佐藤秋夫園長）の砂場へ大量の砂をプレゼントしました。

砂の提供をいただいたのは、北海土建工業(株)（こども園つみき）と北海土建・福田・大基経常JV（宮の森保育園）。作業当日は、園児たちが運搬作業を見学したり、タイヤショベルの運転席に乗せてもらい記念撮影をしたりと、砂遊びや乗り物が大好きな園児たちへ大きなプレゼントとなりました。また、両園の園児へタイヤショベルのぬり絵もプレゼントされ、こども園つみき園児の作品は苫小牧信用金庫へ、宮の森保育園園児の作品は厚南会館へ展示されました。

小・中連携の外国語活動の成果を発表

9月5日、厚真中央小学校を会場に「厚真町英語教育研究大会」が開催され、町内や胆振・日高管内の教職員ら95人が出席しました。

厚真中央小学校と上厚真小学校は、平成24年度から今年度まで文部科学省の教育課程特例校の指定を受けており、「英語を活用できる児童・生徒の育成」を研究主題に、厚真町英語教育推進委員会（石脇正彦委員長）が主体となって小・中連携による外国語活動を進めてきました。当日は、公開授業や分科会のほか、文部科学省初等中等教育局教科調査官の直山木綿子さんによる講演が行われ、3年間の研究成果が発表されました。



担任の先生やALTと楽しく英語を学ぶ児童ら

陣内貴美子さんのバドミントン教室

9月14日、町スポーツセンターでNHK室蘭放送局主催の「NHKジュニアバドミントン教室」が開催され、4団体54人の小中学生が参加し、講師の元オリンピック選手・陣内貴美子さんから指導を受けました。

陣内さんは「技術の向上だけではなく、バドミントンの楽しさを知ってもらいたい」と話し、子どもたちが楽しみながら練習できるメニューを行い、参加者らと約3時間一緒に汗を流しました。参加者は、少しでも多く技術を吸収しようと、陣内さんのアドバイスに耳を傾け、真剣にメニューに取り組んでいました。



参加した子どもたちへアドバイスする陣内さん

本番さながらに 秋季合同模擬火災訓練

厚真消防団と胆振東部消防組合消防署厚真支署による「秋季合同模擬火災訓練」が9月3日、役場庁舎で行われ、消防車や救急車など車両11台が出動し、団署員計約80人が参加しました。

今回は、役場給湯室から出火し、建物内部に延焼が拡大、避難誘導を実施したが逃げ遅れた人や避難の際に負傷した者がいるなどの想定で訓練を実施。訓練が始まると、団署員らは庁舎へ向けて一斉放水を行ったり、逃げ遅れた人の救助や傷病者の救護・搬送をしたりするなど、本番さながらのきびきびとした動きで訓練に臨んでいました。



役場庁舎へ向けて放水する団署員ら

弁護士による無料法律相談会のご案内

厚真町と安平町で、札幌弁護士会地域司法対策委員会による「無料法律相談会」を開催しています。

「交通事故の被害にあったが、どう交渉していいのかわからない」や、「借りていないお金の返済を要求される」など、困っていることを弁護士に相談してみませんか？



◆ 平成26年10月から平成27年3月までの開催日 ◆

開催月日	開催場所	
	午前（10:30～12:00）	午後（13:30～15:00）
10月14日（火）	安平町保健センター	厚真町総合福祉センター
10月27日（月）	厚真町総合福祉センター	安平町ぬくもりセンター
11月10日（月）	安平町保健センター	厚南会館
11月25日（火）	安平町ぬくもりセンター	厚真町総合福祉センター
12月8日（月）	厚真町総合福祉センター	安平町保健センター
12月22日（月）	厚真町総合福祉センター	安平町ぬくもりセンター
1月13日（火）	安平町保健センター	厚南会館
1月26日（月）	安平町ぬくもりセンター	厚真町総合福祉センター
2月9日（月）	厚真町総合福祉センター	安平町保健センター
2月23日（月）	厚真町総合福祉センター	安平町ぬくもりセンター
3月9日（月）	安平町保健センター	厚南会館
3月23日（月）	安平町ぬくもりセンター	厚真町総合福祉センター

○相談料は無料です。
（実際に依頼する場合の弁護士費用は、相談弁護士にお問い合わせください。）

○相談される場合は、事前に予約が必要です。
（相談当日、直接会場にお越しただいても結構です。ただし、予約があってもお待ちいただく場合や受けられない場合もありますのでご了承ください。）

◆予約・問い合わせ先◆

厚真町役場 総務課 総務人事グループ（☎27-2322）／安平町役場 早来庁舎（☎22-2511）

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金 申請されましたか？

締切日を10月10日(金)から平成27年1月30日(金)に
変更しましたのでお知らせします

臨時福祉給付金

【支給対象者】

平成26年度分の町民税（均等割）非課税者の方が対象です。

ただし、次の方は対象外です。

- ①課税者の方に生活の面倒を見てもらっている場合
- ②生活保護の受給者である場合など

子育て世帯臨時特例給付金

【支給対象者】

次のどちらの要件も満たす方が対象です。

- ①平成26年1月分の児童手当・特例給付を受給されている方
- ②平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方

【申請書の提出先】役場町民福祉課福祉グループ（窓口・郵送） ☎26-7872（平日8時30分～17時30分）
※給付対象となる可能性がある方がいる世帯には、7月上旬に税務グループから申請書を郵送しています。

【添付書類】

（本人確認書類）運転免許証・健康保険証等の写し／（口座確認書類）通帳・キャッシュカードの写し

11月5日(水) 緊急地震速報の訓練を行います Jアラートを活用した 住民の皆さんへの情報伝達訓練

厚真町では、大規模な地震の発生時に、警報等の情報を確実かつ迅速に町民の皆さんへお伝えするため、全国瞬時警報システム（Jアラート）を活用した情報伝達訓練を行います。

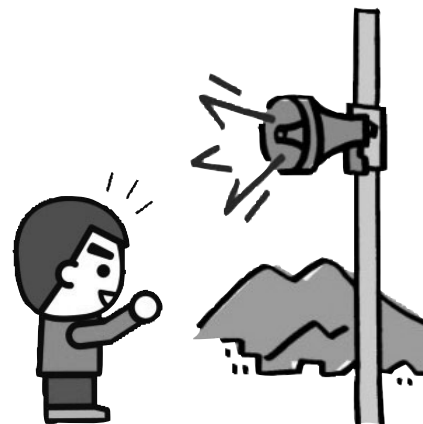
Jアラートを活用した住民への情報伝達訓練 平成26年11月5日(水) 午前10時00分ころ

厚真町では、地震（震度5弱以上）や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（※Jアラート）から送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな手段を用いて確実に皆さんへお伝えするため、情報伝達訓練を行います。

厚真町が当日実施する訓練は次のとおりです。

情報伝達手段	内 容
防災行政無線の試験放送	Jアラートの自動起動機を使用して、防災行政無線および屋外拡声器から放送される標準メッセージは、次のとおりです。 【放送内容】 （上り4音チャイム） こちらは、防災あつまです。 只今から訓練放送を行います。 （緊急地震速報チャイム音） 緊急地震速報。大地震（おおじしん）です。大地震です。 これは訓練放送です。 （3回繰り返し） こちらは、防災あつまです。 これで訓練放送を終わります。 （下り4音チャイム）

注）厚真町以外の地域でも、全道的にさまざまな手段で情報伝達訓練が実施されます。



（※）Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

【問い合わせ先】

役場総務課 総務人事グループ（☎27-2322）

人のうごき

9月1日～9月30日届出分

マチの善意



(おこわり)
上記は、窓口などで広報紙への掲載について確認ができた方を掲載しています。

ホツとひといき

残暑の恐怖が拭い去られ、雪の玄関が見えてくる秋がやってきました。秋といえは「食欲」「読書」「芸術」などがメジャーリーグですが、今年の私自身のテーマは、いつもとは違う視点を持つてみようと思ひ、何が良いだろかと考えてみた結果、今年は「出会ひの秋」とさせていただくことにしました。そんなテーマの中やつてきたのが、先月の「婚活イベント」。町内外からたくさんの方々が訪れ、紅葉ではなく高揚する気持ちを抑えなが

ら臨んだイベントの結果は、たくさんの方の「男性」と出会ったことです。しかしながら、女性票を得ることができず、本来の目的である「女性との交流」を深めるには至りませんでした(0票でも悲しくないよと負け惜しみ)。今回の巡り合わせで出会うことができた方々には、また来年も一緒に秋を迎えてもらいたいと思います。飽きはないでほしいですね。冬が近いせいなのか、寒さが……。(も)

キッズ11月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

月	火	水	木	金
3 休館日	4 開放日	5 子育て講座『ベビーマッサージ』※予約必要	6 開放日	7 開放日
10 開放日	11 開放日	12 あそびの広場『まんまる紙血のイヌ』敬老の日プレゼント※前日までに予約してね!	13 開放日	14 開放日
17 『Helloえいご』開放日	18 開放日	19 びよびよ広場	20 開放日	21 開放日 ※午後「玩具洗い」のため休館
24 休館日	25 開放日	26 あそびの広場『チーズのパベット人形』※前日までに予約してね!	27 開放日	28 開放日 ※園ホール開放日

※水曜日の午後はサークル活動日☆お母さんたちの集まりの場にご利用ください。(予約必要)

※利用時間 午前10:00～11:30、午後1:00～4:00

※『あそびの広場』 10:00～11:30
1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご』 開催日の午前中
ALTの先生が来てくれます。遊びながら楽しく英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しください!

※『びよびよ広場』 10:00～11:30
0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

※開放日には、お気軽に遊びに来てください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、その他お問い合わせは☎27-2438(直通) 子育て支援センターへ!!



「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』と『あつまくんコースター』をプレゼントします。

問 題

9月17日に開催された「敬老会」に出席された方は、何人だったでしょうか?



▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 10月31日(金)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120 厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)

【9月号の答え】 (約)600人

【9月号の正解者】

9月号は、12人応募で全員正解でした。抽選の結果、当選者には後日賞品を発送します。

クイズ・わかるかな?

みなさんの声をお寄せください

・こんな記事を読んでこう思った。
・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

みんなの声

子育て支援センターからのお知らせ

子育て講座『ベビーマッサージ』

◆日時 11月5日(日)10:15～11:15

◆場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」

◆講師 マ・シェリ 藤田ゆかさん

◆対象 2カ月～8カ月くらいまでのお子さんと保護者(多少の対象月齢範囲外で参加ご希望の方はご相談ください。)

◆持ち物 バスタオル(下に敷く用)、おむつ、タオル(オイル拭き取り用)

◆締切 10月28日(日)
※人数把握のため、必ず予約してください。



【お問い合わせ・申し込み先】
子育て支援センター ☎27-2438

町職員の人事異動

※()内は前職

10月1日付けで町部局等の人事異動が発令されました。

厚真町人事

▶異動(10月1日付)
▷まちづくり推進課事業推進グループ主任(総務課総務人事グループ主任)大塚知美
▷産業経済課農政グループ主任(まちづくり推進課企画調整グループ主任)丸山泰弘
▷(兼)まちづくり推進課企画調整グループ主査 中村真吾

厚真町農業委員会人事

▶異動(10月1日付)
▷農業委員会事務局主査(建設課土木グループ主査)佐伯智

あつま未来箱・インターネットでの意見等受理状況

■受理状況 平成26年9月受理件数 10件(未来箱1件・インターネット9件)

あつま未来箱は、厚真町役場本庁舎、総合ケアセンターゆくり、青少年センター、厚南会館、あつまクリニック、桂歯科クリニック、厚真歯科の町内6カ所に設置されているほか、FAXや厚真町公式ホームページ(電子意見箱)を利用することができます。

■ご意見の紹介(一部)

- 空き家の雑草、歩道のアスファルトから伸びる雑草をなんとかしてほしい。
- ふるさと納税に関する問い合わせ等。

■電子意見箱について

自宅から簡単に意見を投稿することができる「電子意見箱」が、町公式ホームページに設置されています。トップページの左側バナー欄に「町への意見」がありますので、ご利用ください。

【厚真町ホームページ】 <http://www.townatsuma.lg.jp/>

■あつま未来箱・電子意見箱についての問い合わせ先
役場まちづくり推進課 企画調整グループ ☎27-3179



みんなの広場



精一杯の笑顔です…



1位・2位は野球部の前キャプテンと現キャプテンでした

厚高インフォメーション



183



疲れた。でもやりきった…。
～全校強歩大会より～

目まぐるしく変化する最近の天候をうけ、開催が危ぶまれた「全校強歩大会」でしたが、9月19日、昨年に続き無事に実施できました。以前は厚高の秋の恒例行事だったにもかかわらず、悪天候で昨年ようやく3年ぶりに実施され、コースも若干の変更を加えて行われたこの大会。1年生にとっては初めて挑む18・6kmでした。

岡本校長先生のスタートピストルの号砲を合図に男女85人が一斉にスタートしました。気温20℃、時折小雨は混じったものの、強歩をする上では上々のコンディションです。途中8カ所に設置した確認ポイントでは、教員の他、十数名の保護者の方にお手伝いいただきました。また、交通整理にあられた駐在所の保里さん・鈴木さんはじめ、役場の土肥さんなど、多くの方々のご協力をいただきました。この場を借りて改めてお礼を申し述べたいと思います。ありがとうございます。

同時に、生徒たちの達成感にあふれた顔を見てみると、保護者や地域の方の支えなしには、教育活動が成り立たないことを改めて教えていただいた気がしています。

「高校卒業したら、こんなに歩くこともなくなるね。」とつぶやいた三年生の言葉が妙に心に響いた秋の日でした。



厚真中央小 1年
宮本 陽彩衣ちゃん（7）
「毛糸とキャンピングで拾ってきた枝で作った、ヘビのお家です。枝を針金で結ぶのが上手にできました。」



厚真中央小 1年
森 華音ちゃん（7）
「いろいろな空き箱で、ハートの入れ物を作りました。後ろの台紙に紙を貼るのが上手にできました。」

わたしたちの作品

ぼくの・わたしの
クラスじまん

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

上厚真小学校 1年生の皆さん

（書いてくれたのは）
担任の佐藤 照美先生と
1年生の皆さん

その152 上厚真小学校



上厚真小の1年生は、男の子7人、女の子3人のクラスです。元気いっぱい、仲良しの10人で毎日楽しく過ごしています。休み時間には逃走中やこおりオニでたくさん遊び、勉強中は先生の話をしっかり聞いて、いろいろなことを知りたいと意欲満々で頑張っています。今、一生懸命なのは、字をきれいに書くこと。書写の時間はもちろん、漢字を習うときも、よい姿勢で丁寧に書いています。

8月の水泳記録会では、10人が自分ができる一番の泳ぎを見せました。最初は顔をつけれなかったけど、最後には水が大好きになりました。2年生の水泳学習も、今から楽しみです。

今は19日の学習発表会に向けて、練習を頑張っています。初めての発表会でちよっぴり緊張しますが、みんなで力を合わせた歌や楽器を、たくさんのお客さんに聞いてもらいたいです。

回答

- ① 余市町・A型・おとめ座
- ② 特になし
- ③ 野球が上手になりたかった
- ④ 【得意】体育 【苦手】社会
- ⑤ 1年目
- ⑥ 自然がいっぱい（子どもたちが活動できる所がいっぱいあります）、食べ物おいしい（給食、ジンギスカン、ハスカップなど）
- ⑦ 【趣味】土・日は息子の野球チームに同行し、応援しています
【特技】若い頃は野球。今は？
- ⑧ すし、スイカ
- ⑨ 特になし
- ⑩ よく食べ、よく遊び、よく学べ！
中央小の子は、3つともよくできていると思います。

直撃インタビュー
〇〇先生を紹介します！
Vol. 30

厚真中央
小学校



とみづか 富塚 栄樹先生

質問

- ① 出身・血液型・星座
- ② 座右の銘
- ③ 小さい頃の夢
- ④ 得意・苦手だった教科
- ⑤ 厚真に来て何年目
- ⑥ 厚真の良いところ
- ⑦ 趣味・特技
- ⑧ 好きな食べ物
- ⑨ 好きな本または映画
- ⑩ 子どもたちにひと言

文芸あつま ◆短歌◆

女子会に出られる事の喜びをしみじみ思ふ八十路の吾よ
何といふ事なく暮れたる今日なるも幸せ思ふ湯に浸りつつ
草々の中に混じりて凛と咲く秋明菊は冷ゆる朝を

（あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十九号』から抜粋）

（本郷 矢部 慧子）
（新町 金本 年子）
（浜厚真 山田 志津）

今月の担当
栄養士
佐藤 里実

認知症を防ぐ食事

加齢とともに認知症は身近になる
ものですが、その予防には「日常生活」が密接にかかわっています。



エネルギーと塩分の取りすぎに注意！

脳血管性認知症になりやすいのは、すでに生活習慣病にかかっている人。例えば高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリック症候群や心臓疾患などが関係しています。

これらを防ぐ食生活といえ
ば、太りすぎでもやせすぎでも
ない状態に保てる『栄養バラン
スのよい食事』をほどよくとる
こと、また、食塩をとり過ぎな
いように気をつけることが基本
です。

特に太りすぎの人は血管が硬
くなりやすいので、脳血管性認
知症を防ぐために、『食事＋運
動』で、メタボにならないよう
気をつけることが大いに役立つ
といえます。

アルツハイマー病について
も、太りすぎの人は要注意です。
太りすぎの人は、太っていない
人よりもアルツハイマー病にか
かりやすいことが、さまざまな
研究結果からわかっています。

エネルギーのとりすぎに注意す
ることは、リスクの低下につな
がります。

米ごはんは茶わん1杯 程度は毎食食べよう！

米ごはんを食べると太るな
ど、ごはんを食べない極端なダ
イエットを行う人もいるよう
ですが、毎食1杯は食べましょう。
高齢者は便秘に悩む方も多
く、米ごはんに含まれる食
物繊維は水分を吸収して便を柔
らかくし、便の量を増やしてく
れます。

ただし、米ごはんを食べ
すぎるとその他の食材が食べら
れなくなり、栄養バランスを崩
してしまいますので注意しまし
よう。

肉か魚なら魚がおす め！でも偏らないで

週に2〜3回は魚を食べるこ
とを意識しましょう。
魚には、認知症予防に役立つ

多価不飽和脂肪酸（エイコサペ
ンタエン酸〔EPA〕やドコサ
ヘキサエン酸〔DHA〕）は、魚
に多く含まれています。
また、肉には血管を硬くした
り詰まりやすくしたりする飽和
脂肪酸が多く含まれています。
そのほかに、大豆や大豆製
品も脳を活発にさせたり記憶力
の低下を防いだりする効果があ
りますので、積極的に食べまし
よう。

ビタミンを 積極的に食べよう！

ビタミンA、D、E、B12、
葉酸といったビタミン類の不足
は、アルツハイマー病のリスク
と関連することが指摘されてい
ます。

これらは、肉、魚、大豆のほ
か、野菜や芋、豆、きのこ、海
藻、果物、種実などさまざまな
食品をまんべんなくとることで
補えます。

サプリメントではなく 食事から！

認知症予防に役立つ栄養素を
確実にとるためにサプリメント
を利用する方もいますが、特に
ビタミンEはサプリメントから
ではなく、食事からとることの

寝る前に水分補給を！

寝る前の水分補給は、睡眠中
の血液濃度が上昇し血栓ができ
るのを防ぐので、心筋梗塞や脳
梗塞、脳血管性認知症の予防に
なります。

同じ飲み物でも、アルコール
は飲みすぎると脳血管性認知症
やアルコール性認知症のリスク
を高め、肝臓などにもダメージ
を与えます。また、アルツハイ
マー病の予防に役立つといわれ
る赤ワインも、飲みすぎると逆
効果です。コーヒーや緑茶など
も利尿作用があるため、寝る前
の水分補給には適しません。



ほけんの11月 掲示板



乳児健診

とき・ところ 12日(木) 総合ケアセンターゆくり
受付 個別にご案内します
対象 H26. 5. 7～H26. 8. 12生まれ(3～6カ月)または
H25. 11. 7～H26. 2. 12生まれ(9～12カ月)のお子さん
持ち物 母子健康手帳、バスタオル
※9～12カ月のおさんは歯科相談も行います。歯
ブラシをお持ちください。

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 25日(火)～28日(金) ※27日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってくだ
さい。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①生後12カ月～24カ月までのお子さん
②H20. 4. 2～H21. 4. 1生まれのお子さん(小学校
就学前の1年間にあたるお子さん)
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方：母子健康手帳、印鑑

水痘(水ぼうそう)予防接種

とき 毎週 月曜日～金曜日
(木曜日午後と祝日は休診です。)
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってくだ
さい。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①生後12カ月～36カ月に至るまでのお子さん
②生後36カ月～60カ月に至るまでのお子さん
(②は平成26年度までの経過措置)
標準的な接種時期と接種間隔
【対象①】初回接種(1回)：生後12カ月～15カ月
追加接種(1回)：初回接種後6～12カ月後
【対象②】接種対象期間内に1回接種
※①②ともに、既に罹患済みの場合や既定の回数を接種済
みの場合は対象外です。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

四種混合予防接種 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

対象児 生後3カ月～90カ月までのお子さん
標準的な接種時期と接種間隔
※初回接種(3回)：生後3カ月～12カ月に20日～56日の間
隔で3回。
※追加接種(1回)：初回接種終了後から12カ月～18カ月後
に1回。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
※三種混合予防接種を終了されていない場合は、町保健師
にご相談ください。

小児マヒ(ポリオ)予防 不活化ワクチン接種

対象児 生後3カ月～90カ月までのお子さん
※不活化ポリオワクチンは初回接種3回、追加接種
1回、合計4回の接種が必要です。
標準的な接種時期と接種間隔
※初回接種(3回)：生後3カ月～12カ月に20日～56日の間
隔で3回。
※追加接種(1回)：初回接種終了後から12カ月～18カ月後
に1回。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
予約 要事前予約 電話可(接種希望日の1週間前まで)
予約先 町民福祉課 健康推進グループ(☎26-7871)

ヒブ感染症※1・小児肺炎球菌 感染症※2 予防接種

対象児 生後2カ月～60カ月に至るまで
標準的な接種時期と接種間隔
【※1・2共通】初回接種開始：生後2カ月～7カ月
【※1の追加接種】初回終了後、7～13カ月
【※2の追加接種】生後12カ月～15カ月
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

上記の予防接種の「とき」・「ところ」・「受付」・「持ち物」
については、すべて下記のとおり(共通)です。

とき 毎週 月曜日～金曜日
(木曜日午後と祝日は休診です。)

ところ あつまクリニック

受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってくだ
さい。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
持ち物 母子健康手帳、印鑑

11月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話番号(0144)
2日 (日)	内科系	苫小牧病院	光洋町3-16-4	72-1201
	外科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151
3日 (月・祝)	内科系	とまこまいこどもクリニック	住吉町1-2-8	33-1050
	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000
9日 (日)	内科系	さくらファミリークリニック	東開町3-17-21	55-6526
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
16日 (日)	内科系	沖医院	旭町4-4-15	32-8870
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
23日 (日)	内科系	やまざきこども医院	大成町2-3-1	75-1133
	外科系	わた脳神経外科クリニック	表町2-1-16	37-3711
24日 (月・祝)	内科系	たかやなぎ小児科	日新町2-7-8	71-2115
	外科系	メモリアル整形外科	花園町4-2-5	74-2111
30日 (日)	内科系	柴田内科循環器科	桜木町1-24-18	71-2225
	外科系	ともより整形外科	東開町4-21-22	57-8211

(診察時間) 9:00～17:00

当番医は変更になることがあります。
新聞等で確認するか、当日病院へお問
い合わせください。

(お知らせ)

『北海道救急医療・広域災害情報システ
ム』を利用して近くの医療機関などが検
索できます。

■ホームページアドレス

<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

■電話

フリーダイヤル 0120-20-8699

携帯電話・PHSからは 011-221-8699

苫小牧市夜間・休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を 受け付けています。 【住所】 苫小牧市旭町2-9-2 (☎0144-35-0001 / ☎0144-35-9099)
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	
土曜日	14:00～翌朝7:00	
日曜日・祝日	9:00～翌朝7:00	

「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。

【ホームページ】<http://www.toma-med.or.jp>

また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。

【携帯電話用URL】<http://www.toma-med.or.jp/phone/>

※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承願います。

今月のつがやき

息子はタラの白子「たち」が大好きです。北海道では「たち」ですが、青森県では「たづ」、岩手県では「きく・きくわた」と呼ぶらしいです。「たち」が全国共通だと思っていました…。

税金

個人町道民税の納税はお済みですか？

町では、北海道と連携して町道民税の滞納者に対し、強力に滞納整理を実施します!!

町では、10月に胆振総合振興局 苫小牧道税事務所と共同で催告文書を送付します。

催告書の指定期限までに必ず納税してください。

期限までに納税されない場合は、財産の差し押さえを行います。

問い合わせ先

役場総務課税務グループ（☎27-2481）

固定資産税

家屋の現況確認を行います

役場総務課税務グループでは、固定資産税の対象となる建物の現況確認を行います。

期間中、身分証明書を携帯した調査員が町内全域を巡回し、課税対象となる建物の確認を行いますので、ご協力をお願いします。

期間

10月14日（火）から10月21日（火）まで

問い合わせ先

役場総務課税務グループ（☎27-2481）



建物（居宅・倉庫・車庫等）を取り壊したら手続きを

固定資産税は、毎年1月1日現在で登録されている建物に課税の対象となります。

課税対象となっている建物を本年中に取り壊した場合は、お手数をおかけしますが役場税務グループで抹消手続きをお願いします。

なお、手続きの際は印鑑をご持参ください。

問い合わせ先

役場総務課税務グループ（☎27-2481）

散布

野ねずみ駆除薬剤の空中散布を実施します

厚真町内で、野ねずみの害から森林被害を防ぐため、ヘリコプターによる薬剤（殺鼠剤）の空中散布を次の内容で実施します。

実施予定日

10月20日（月）～25日（土）※天候の状況により、変更になる場合があります。

時間

午前8時から午後4時頃まで

場所

民有林

面積および数量

民有林／1,685・33ヘクタール
1畝当たり0・8kg散布

薬剤名

リンカS1粒剤、ホクサンりん化亜鉛10粒剤
（農薬取締法による登録を受けている農薬）

問い合わせ先

苫小牧広域森林組合厚真支所（☎27-2429）



相談

無料登記相談会を開催します

厚真町と札幌法務局、札幌土地家屋調査士会では、司法書士と土地家屋調査士による『無料登記相談会』を、次のとおり開催します。

既に所有者が亡くなっているのに相続登記をしていない場合

講座

第3回地元学講座を開催します

厚真を知る会では、次のとおり「第3回地元学講座」を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

テーマ

厚幌ダム大解剖

日時

11月10日（月）
午後6時開場 午後6時30分開講

会場

総合福祉センター大集会室

参加費

300円

問い合わせ

厚真を知る会 事務局 宮下（教育委員会生涯学習課内 ☎27-2495）

情報

パソコン教室を行っています

苫小牧地域職業訓練センターでは、毎月パソコン講習を企画しています。

11月は、初級者向け1コース（インターネットの検索とメール）、中級者向け1コース（エクセル初級）、上級者向け3コース（エクセル中級・ホームページ作成・エクセル2級検定対策）の計5コースを実施予定です。

合、土地や建物の処分等の際に手続きがスムーズにいかず、残された親族に迷惑がかかることがあります。

また、隣の家との境がはつきりしない、壊した建物の登記がそのままになっている、生前に土地を孫に譲りたい、ローンを返し終わつたのに担保がそのまま残っている：など、土地や建物に関する悩みに、登記の専門家である司法書士・土地家屋調査士がお答えします。この機会にぜひ、安心して相談してください。

日時

11月15日（土）午前10時から午後4時まで

場所

総合福祉センター

予約・問い合わせ先

役場総務課総務人事グループ（☎27-2322）

※予約優先となりますので、相談をご希望の方は予約をお願いします。

相談

無料調停相談を行います

苫小牧調停協会では、次のとおり『無料調停相談』を行います。

交通事故、公害、土地建物、金銭、離婚、遺産相続の問題等で困りの方は、お気軽にご相談ください。

講習の日程・受講料など

詳しくは、苫小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

苫小牧地域職業訓練センター（ホームページ）
<http://www.tomakomai.ac.jp/>

（☎0144-55-6622）



「必ずチェック 最低賃金！使用者も 労働者も」

北海道最低賃金

時間額 748円

平成26年10月8日発効

北海道内で事業を営む使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む）に適用される北海道最低賃金が、左のとおり改定されました。

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）

パン教室のご案内 ～カンパーニュを捏ねる、食べ比べる～

焼き立てでしか味わえないおいしさもありますが、日が経ったパンでも、温め次第で焼き立てよりおいしく食べることができます。数日経ったパンの焼き方、蒸し方をお伝えし、食べ比べていただきます。

※自家製酵母を使ってカンパーニュ生地を捏ねる作業もあります。生地は持ち帰り、お家で発酵・成形して焼いてください。

【日時】10月21日（火）、10月25日（土）、10月30日（木）、11月6日（木）、11月11日（火） 午前10時～12時

【定員】各回5名

【場所】厚真町地域おこし協力隊活動拠点「サンマルゴ」 厚真町本郷305-2（旧セブンイレブン）

【持ち物】エプロン、ふきん、ボウル（直径22cmくらい） 【参加費】1,000円

【パン指導】厚真町地域おこし協力隊 特産品開発支援員 高田真衣

【申し込み・問い合わせ】役場産業経済課（☎27-2486）※お子さんをお連れの方はお知らせください。

【支援員ブログ】<http://atmtshk.blog.fc2.com/>





のろ たいよう
野呂 太陽く ん



のろ ひなた
野呂 陽葵ちゃん



まちのアイドル

☆ 378 ☆



にわ こうすけ
丹羽 康介く ん



さわぐち ようすけ
澤口 陽亮く ん